



山崎幸男議員

産業振興

# 町の経済再生策は

## 協議会などから提言

**質問** 本町の第一次産業を取り巻く環境は、就業者の高齢化と次代を担う後継者不足や生産量・生産額の減少などにより所得は減少し、町内の経済状況は、非常に困窮した状態である。

町の経済を再生させるためには、基盤産業である農林漁業、商工、観光業を持続可能なものに再構築し、町民所得の向上と独自振興施策のグレードアップを図る必要があることから、早急に推進体制を構築すべきと考えるが認識と所見は。

**沼崎町長** 新たな産業振興や課題解決策を模索するため「山田町産業活性化推進協議会」を設置し、協議会からは、平成21年10月末をめどに地域活性化策について、提言を受けることになっている。

また、新年度には、仮称「山田町商工業懇話会」を立ち上げ、経済・金融の情勢、各商工業の生産動向、経営戦略・産業技術などの情報交換を行い、行政施策に反映できるように努めたいと考える。

### 道路行政

## 山田く宮古間の見通し

### 現在ルート検討中である

**質問** 三陸縦貫自動車道は、災害時の支援活動、都市と

地方の文化、人的交流経済交流に大きな期待が寄せられている。山田く宮古、山田く釜石間の進捗状況や今後の整備の見通し、整備促進に当たって、宮古市・大槌町・釜石市との連携をど

のように進めていくのか。

**沼崎町長** 山田宮古間で進めている「宮古道路」は、宮古市金浜く松山の延長4.8キロで平成21年度供用を目標としている。山田釜石間の「釜石山田道路」は、釜石市両石町く片岸町の「先行整備区間」4.6キロで、平成22

年度の供用を目指している。

今後の整備の見通しについては、関係機関の情報によると、山田宮古間はルート検討中、山田釜石間は釜石市甲子町く両石町の区間を計画。また、市町村の連携については、三陸縦貫自動車道整備促進協議会を通じて、各方面への要望活動などを展開しており、これからも連携を強め、整備促進に努めていく。

### 議員9人が一般質問



山田道路以北の早期整備が望まれています (山田インター出口付近)